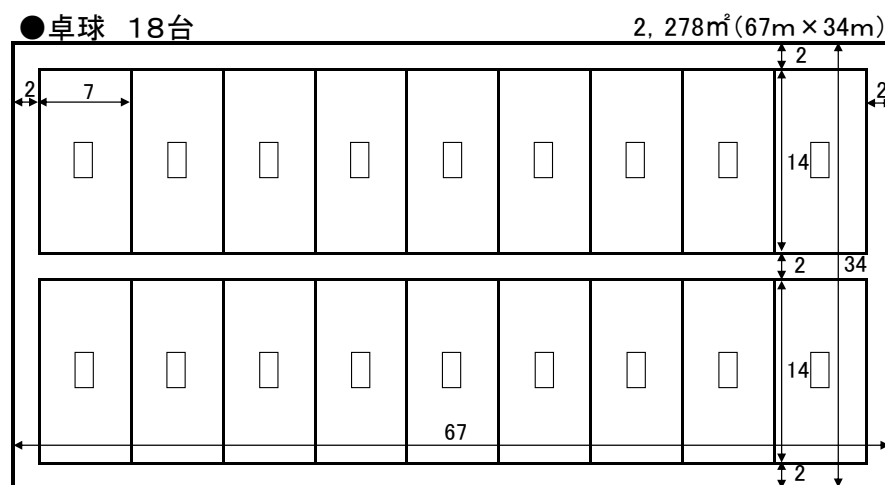
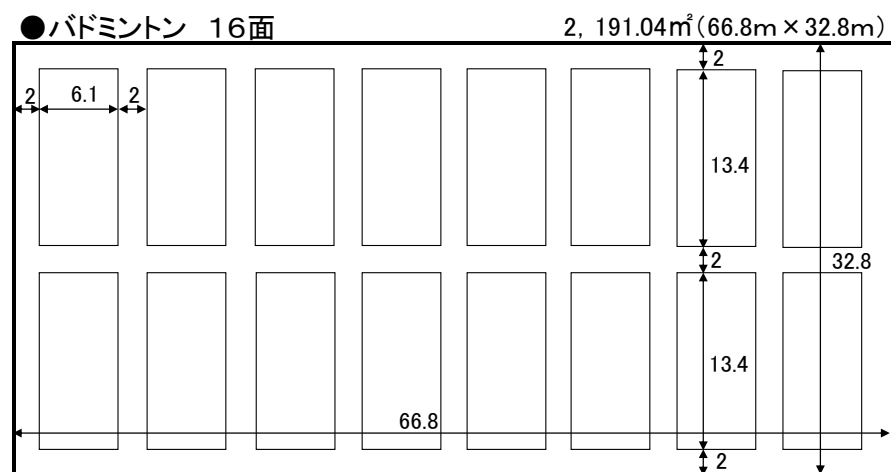
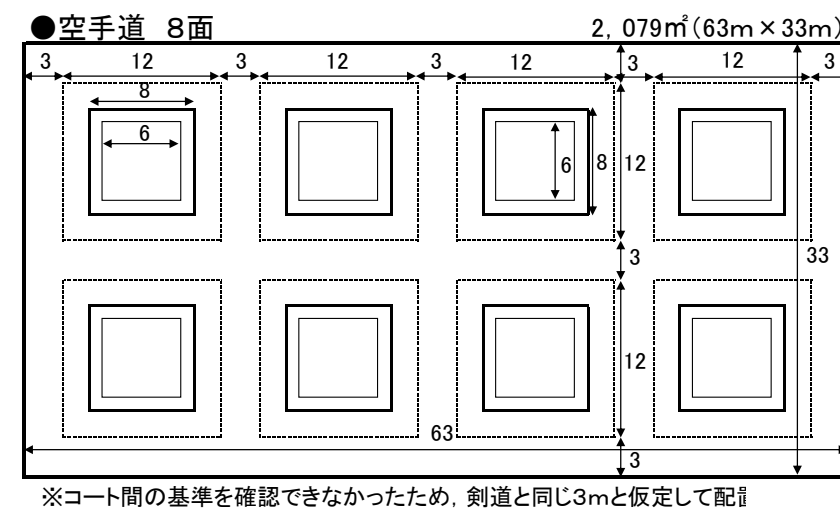
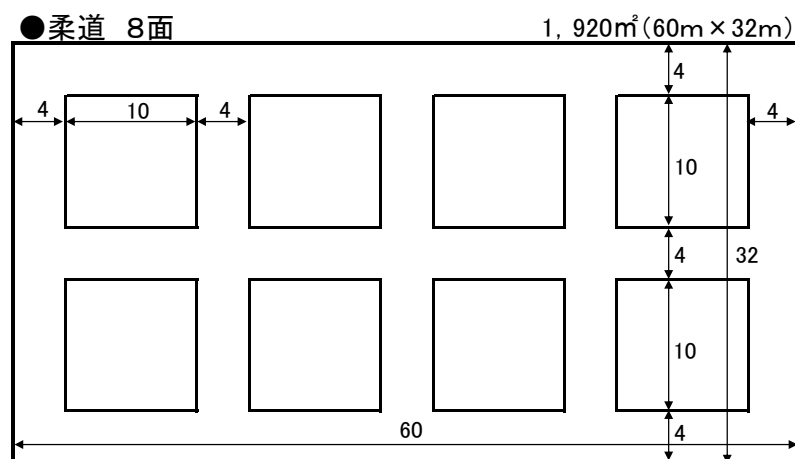
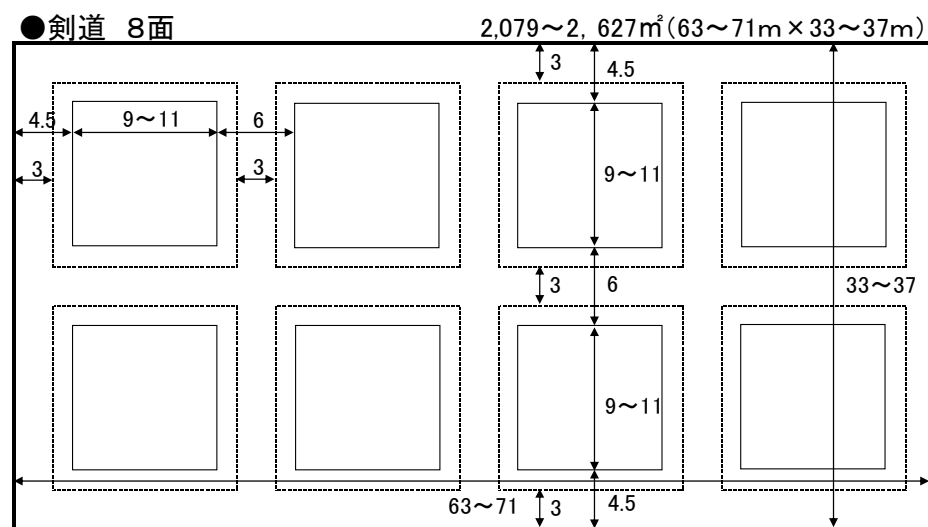
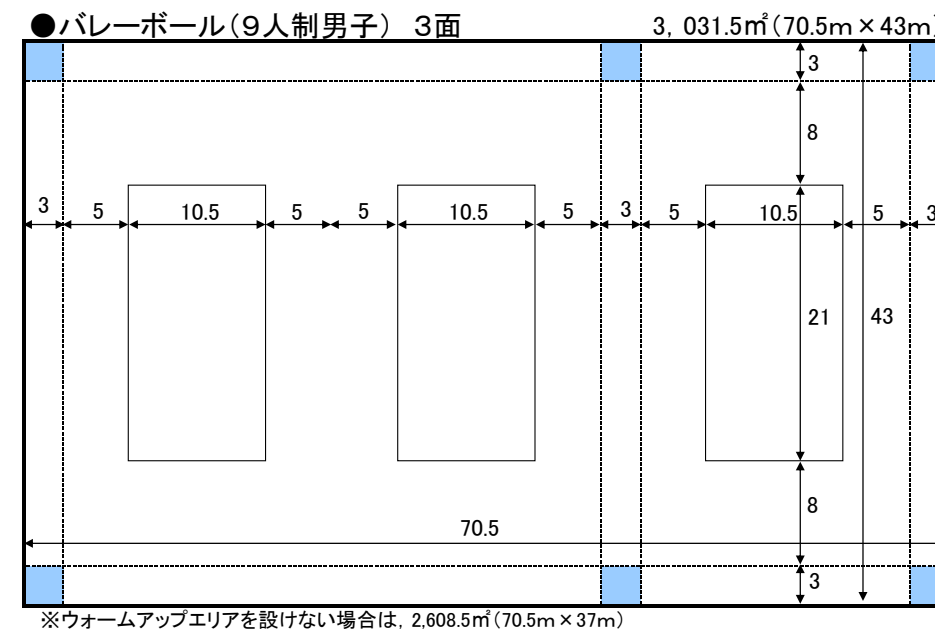
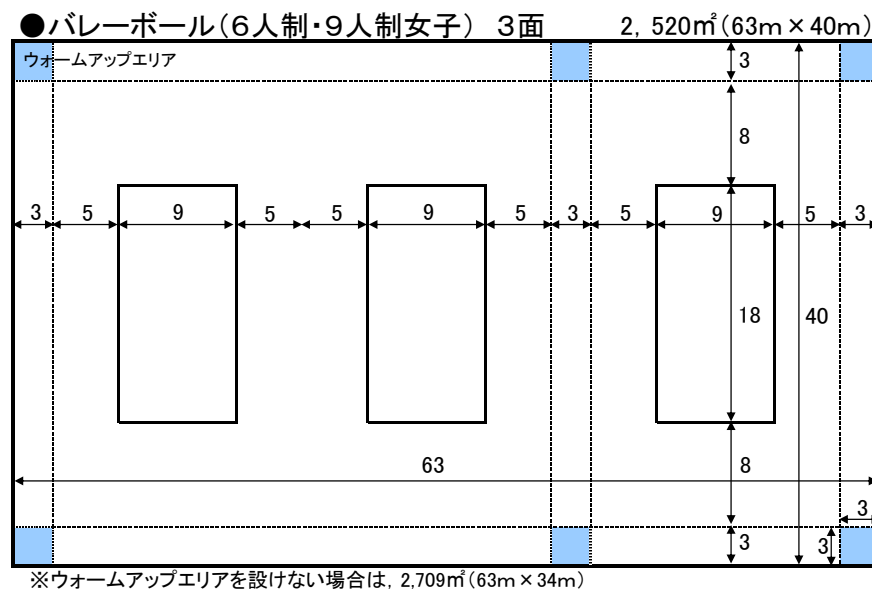
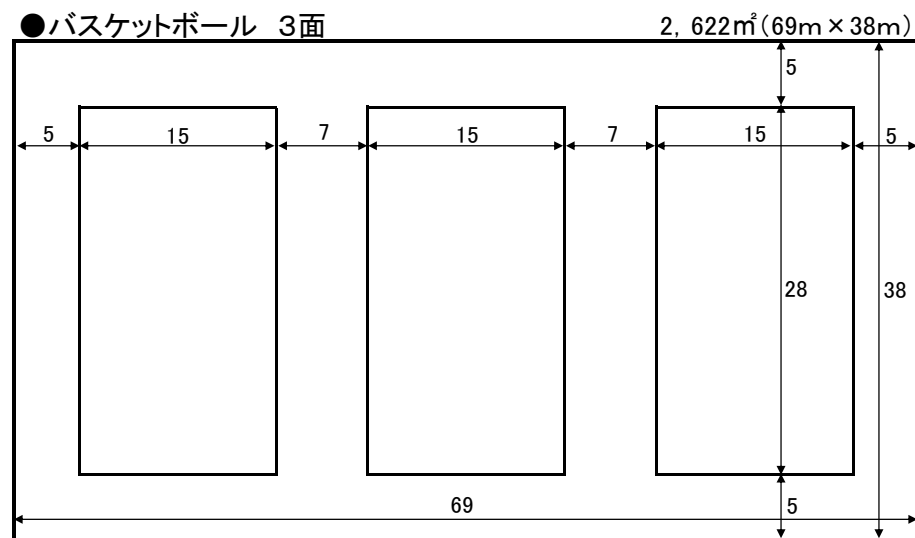


主な競技のメインアリーナにおけるコート配置イメージ

- ◆2,760㎡(69m×40m)の規模で整備できれば、コート面積が広いバスケットボール及びバレーボールのコートを国体基準で3面配置できる。
- ◆この規模であれば、国体基準で、剣道、柔道及び空手道の試合場が8面配置できる。
- ◆この規模であれば、国体基準で、バドミントンのコートが16面、卓球台が18台配置できる。
- ◆この規模は、近年、人口10万人以上の市で整備された拠点体育館並であり、政令市の拠点体育館の主流である。



※コートの配置は第73回国民体育大会競技施設基準を適用。ただし、バレーボール(9人制)は、第67回の基準を適用。